

平成26年度 農業高校助成事業

事業主体名 鹿児島県立種子島高等学校

1 目的

本地域は農業が基幹産業であるが、入学生のお多くは第二種兼業農家・非農家であり、農業体験が少ない。しかし、過半数の生徒は農業に興味・関心を持ったことを入学の動機にあげている。このような現状から、島外視察研修や体験学習等の実施により農業の実際を幅広く学ばせ、就農意欲の醸成とともに教育的効果を高める。

2 実施状況

(1) 農業大学校の体験入学

農業大学校への進学を希望する3年生5人が、園芸コースの体験に参加した。希望する学科の説明の後、お茶の製枝作業や花卉の土壌診断などの実習を行った。

また、農大教育の特徴や寮生活の説明を受け、これまで以上に関心を持った。青年就農給付金等の説明もあり、農大進学と将来の営農への意志が固まった。



農大の学科紹介



農学部施設見学



農学部の体験実習

(2) 1年生先進地視察研修

就農志望者に対して農業大学校や農業開発総合センター、島外の先進農家を1泊2日で見学した。農業への興味・関心を確かなものとし、将来就農を目指すための動機付けとなった。



田畑農園の概要説明



姫野農園の農場視察



農業大学校の農場視察

3 今後の課題及び取組

本年度は農業大学校への進学者が5人であった。これも農業後継者育成基金事業を継続・活用により、研修の機会をいただいたお陰でもある。今後も事業内容の魅力を高めることで、就農志望者が1人でも増え、地域農業を支えられるようになっていきたい。